

ドイツ文学 専攻（博士前期/修士）

試験科目：外国語／専門科目

## 外国語

## 解答例：

## 1.

カフカが一筋縄ではいかない人物であったことは否定できない。しかし、その分かり難さから、ある種の「作家をめぐる神話」を安易に作ってはならない。公務員として、またその職務において、彼は認められ、高く評価され、成功を収めてもいた。とはいえ、仕事には時間が奪われる。カフカは執筆のための時間を自ら捻出しなければならなかった。かくして彼は勤務後、つまり1912年9月22日の夜も書いていたのである。彼は決して趣味で作家活動をしているわけではなかった。むしろ書くことこそが彼の生の核心を成していたのである。カフカにとって、今回取り組んでいる作品『判決』は重大な意味を持ち、まさに執筆への「突破口」となった。だが、作品そのもの以上に重要であったのは、書くということ、そのものであった。彼は日記に、自らに向けてほとんど綱領的に「ただこのようにしてのみ、書くことができる」と書き記している。いかにしてか。彼はさらにこう続けた。「ただある連関においてのみ、すなわち、身体と魂をかくも完全に解き放った状態でのみ」と。

## 2.

人々がフィクションの文章を読む理由は多くある。ある者は、日々の退屈を紛らわせ、ふだんの生活よりも人や出来事が刺激的に思える別世界を体験するために、これを行う。別の人々にとって決定的なのは言語である。つまり、ある作者が性格描写や情景描写のためにどのように自身の言語的手法を用い、文学的に優れたものを生み出しているかに注意を向けるのである。フィクションの文章、すなわち物語は、常に人工物であり、私たちに惹きつけることを目的としている。それらが優れていれば、通常、私たちの感情に触れてくる。しかし同時に、それらは私たちが生きている世界をも開示してくれる。より正確に言えば、物語は、他の種類の言説では明らかに提供できない、洞察や解明のひとつの形をもたらすのである。だが、読者が世界に関する事実そのものに関心を持つならば、彼が選んで読むのは通常、文学的フィクションではない。彼が求める知識の源は、科学雑誌の記事、歴史的アーカイブの文書、並びに堅実なジャーナリスティックな新聞記事といったものの中にあるだろうと推測される。それでも、トルストイの『戦争と平和』が、ナポレオン戦争の前や最中におけるロシア社会の外交的・政治的機構に関して重要な洞察を含んでいることを否定する人はほとんどないだろう。この小説がそれ以外にどのようなものであるにせよ、ひとつ確かなことは、それが19世紀初頭の歴史についての、優れた学びの機会であるということである。

## 3.

しかしながら、国境が学問分野や言語のあいだの文化横断的な相互作用を妨げることはないとはいえ、少なくともある文脈においては、文化的記憶をめぐる独自の国民文化が存在するように思われる。ドイツでは、ヤンおよびアレイダ・アスマンの記憶論に関する著作が正典化されたテキストとなっており、多くの記憶研究の専門家が参照する理論的基盤となっている。彼らの研究は、モーリス・アルヴァクスやヤン・ヴァンシナといった非ドイツ語圏の学者に多くを負っており、その理論は次第にドイツ国外にも影響を広げつつあるが、ドイツ語圏の学術研究に及ぼした影響は前例のないものである。

## 専門科目

### I. 評価基準：

#### 1. 読解力

- ・テキストの主旨および論理構造を正確に把握しているか。
- ・重要概念・専門用語を適切に理解しているか。
- ・誤読や恣意的解釈が見られないか。

#### 2. 論点の再構成力

- ・主要論点を的確に抽出しているか。
- ・細部の羅列や逐語的翻訳に終始していないか。
- ・議論の流れを踏まえて全体を再構成できているか。

#### 3. 専門的知識の活用

- ・対象を文学史・思想史・文化史の中に適切に位置づけているか。
- ・重大な年代的・概念的誤りがないか。
- ・参考文献の議論と既有知識を適切に接続できているか。

#### 4. 論述力

- ・論理的に整った文章構成となっているか。
- ・主観的感想に流れていないか。
- ・学術的説明としての体裁を保っているか。

#### 5. 総合的研究適格性

- ・大学院における研究遂行に必要な基礎的能力が総合的に備わっていると判断できるか

### II. 評価基準：

#### 1. 文学史的・歴史的文脈の理解

設問に関連する文学的事象を、時代背景や文学史の流れの中で適切に位置づけて説明できているか。

#### 2. 概念・テーマの的確な把握

設問で問われている概念について、その特徴や意義を的確に理解し、明晰に説明できているか。

#### 3. 具体例の適切な提示

説明に際して、代表的な作家・作品・事例が適切に挙げられ、設問内容と無理なく結びつけられているか。

#### 4. 因果関係・相互関係の理解

文学作品・形式・思想・社会的状況などの間にある関係性を的確に理解し、明晰に示しているか。

#### 5. 記述の簡潔さと構成力

解答用紙5～6行という制限の中で要点を整理し、論点の明確な記述がなされているか。

#### 6. 学術的記述としての適切さ

学術的文体が用いられ、主観的・感想的表現に偏っていないか。基本的な日本語表現に不備がないか。